

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準（概要版）

1 福祉サービス事業者情報

（１）事業者概要

事業所名称： 社会福祉法人 本町保育園 （施設名） 本 町 保 育 園	種別： 保 育 所
代表者氏名： 理事長 堀本れい子 （管理者） 園 長 堀本れい子	開設年月日：昭和３７年１０月１日
設置主体：社会福祉法人 本町保育園 経営主体：社会福祉法人 本町保育園	定 員： ６０名 （利用人数）６８名（H27.12月現在）
所在地：〒863-0007 熊本県天草市本町本 ７７２番地１	
連絡先電話番号： ０９６９—２２—３８７１	F A X 番 号： ０９６９—２２—３８７１
ホームページアドレス	http://www.ans.co.jp/n/honmachi/

（２）基本情報

サービス内容（事業内容）	施設の主な行事
第二種社会福祉事業（保育所） 乳幼児の保育 延長保育 育児講座 体験入園 軽度障がい児保育 学童保育（自主事業） 一時預かり保育（自主事業） 園庭解放	入園式、卒園式、創立記念の会 運動会＆運動会だより、おゆうぎ会＆おゆうぎ会だより 誕生会、クリスマス会、節分の会、ひな祭り会、お別れ会 もちつき、カレー作り＆お買い物、お店屋さんごっこ 歓迎遠足、お別れ遠足、バス遠足、えんそく 人形劇、アート・ワークショップ、コンサート 和太鼓教室、リズムランド、国際交流 こども美術展（会場；本町ふるさと美術館）＆こども美術展だより、絵本貸出し 愛宕様山登り、川遊び、プール遊び、スイミング、野菜栽培、干し大根作り、芋掘り＆クッキング、七草つみ 身体測定、園児健康診断、歯科検診＆指導、蟻虫検査 交通訓練、避難訓練（火災・地震・風水害） 保育参観、子育て講演会、おしゃべり会（保護者向け育児相談・食事指導・リフレッシュ等）、フリーマーケット 三世代交流会『七夕会』、敬老レター 町民体育祭参加、ふるさと祭りに和太鼓出演＆作品展示 ボランティア清掃（本町コミュニティーセンター） 施設慰問、体験入園（チラシ配布；24,000枚）
居室概要	居室以外の施設設備の概要
保育室、沐浴室、調乳室 遊戯室、調理室、食糧保管庫 事務室・医務室、トイレ 職員休憩室	大型遊具（チューブスライダー、バイキングシップ、シーハウス他）、園庭（800㎡）、砂場、倉庫 蜂の巣形菜園＆デッキ、紫外線カット屋根付きプール 紫外線カット屋根付き駐車場＆エントランス

○安心安全

本町保育園は四方を山に囲まれ、田んぼや畑や竹林を通して来る風も心地よく、毎日『森林浴』気分です豊かな時間を過ごすことができる静かな環境にあり、標高が高い為に水害の心配もなく、安心・安全な保育園です。

地域の皆さんも、お散歩中の子どもたちの声が聞こえると必ず声をかけてくださり、子どもたちのおしゃべりにつき合ったり、一緒に七草つみをしたりして、いつも優しく温かい心をかけていただいています。

○豊かな自然環境

豊かな自然環境に恵まれており、日々自然の恩恵を受けながら、色々な楽しい取り組みを行っています。

恵まれた自然環境から学ぶことは限りなく、山や川、虫、道端の草花、蝉の声、小川のせせらぎ、風の音等、豊かな保育材料の宝庫である自然に感謝し、様々な本物に出会い、優しい地域の方々に見守られながら、心豊かな体験を通して強い身体と優しい心、豊かな感性が育っています。

- ・愛宕様山登り...毎日保育園から憧れの眼差しで見ている愛宕様に、卒園前の子どもたちがみんなで助け合い、協力しながら頑張って登ります。

3・4歳児は、次に登ることを期待しながら年長児を見送り、無事山登りから帰った年長児には尊敬の眼差しが注がれ、年長児は達成感と同時に誇りと自信に満ち溢れ、満面の笑みがこぼれます。

年長児だけができることを設定し、子どもたちが大きくなることに期待を持って、意欲的に生活できるように配慮しています。

- ・川 遊 び...夏の暑い日に、草履ばきで川遊びに出かけます。

蟹を捕まえたりメダカを探したりしながら涼しさを堪能し、同時に川の石は丸いことや苔の生えた石は滑ること、苔の匂いと陽向の匂いの違い等、五感をフル稼働させて自然の素晴らしさを無心に無条件に受け取って学んでいく子どもたちの姿を、職員全員で眩しい思いで見守っています。

以前は、川で冷やしたスイカでスイカ割りをしてみんなで食べていましたが、現在は安全面を考慮して、残念ながらその楽しみはなくなりました。

自然は最高の学びの宝庫であり、何よりも素晴らしい保育材料であることを日々実感し、自然に感謝しながら、子どもたちの内側からほとばしり出る育ちを信じて、さり気なく温かく見守っています。

- ・野 菜 栽 培...園庭に設置した蜂の巣形の畑に季節の野菜を栽培し、水やりをして観察し、その成長を楽しみにしながら色々な学びがあり、収穫の喜びと共に、給食に出る野菜の新鮮なおいしさを実感して野菜大好きになります。

- ・干し大根作り...畑で栽培した大根をみんなで収穫し、年長児が干し大根作りに挑戦しますが、細心の注意を払いながら大根を切っている顔は真剣そのもので、3・4歳児が見守る中で、自分たちだけができる特別なことという満足感と喜びに溢れ、年長児としての自覚が高まります。

給食に出る干し大根は最高に美味しく、「おいしいね。ありがとう」と

みんなからお礼を言われた時の達成感と満足感は、最高潮に達します。

- ・カレーパーティー...畑で獲れた野菜の他に、年長児が2キロの道のりを歩いて材料を買いに行き、みんなでカレーを作って園児全員で会食をしますが、自分たちが作ったカレーは特においしく、お代わり続出の嬉しい日になります。
「これまでで一番おいしい。ありがとう」と喜ばれて人に感謝される喜びを覚え、その後は家でお手伝いをする子どもが増え、親御さんにほめられてお手伝い上手になり、更にお片づけ上手になり...と、就学に向けても、良い循環が始まります。

- ・一人一粒種まき運動...家庭にある種を持参して自分の手で蒔き、水やりをしながらその生長を楽しみに待ちます。

自分の種がどんな風に芽が出て何になるのか、毎日畑に行ってそれぞれの生長を楽しみにしており、野菜や豆等が獲れて給食に出ると大喜びし、「○○ちゃんの豆はおいしいね。ありがとう」と、感謝の気持ちを表して認め合い、お互いに相手の気持ちを思いやる基礎が育っていきます。

- ・七草摘み...1月7日の朝から、近所の田んぼや畑に出かけて七草摘みをします。

「せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ これぞ七草」と歌うように唱えながら、みんなで七草を探して歓声を上げます。

おやつには、みんなで摘んだ七草入りの七草がゆをいただいて健康を願い、家に持ち帰った七草は、おかゆだけでなく、お母さんのアイディアでお寿司や混ぜご飯、すまし汁等に変身して、家族みんなの健康を願います。

- ・よもぎ摘み...よもぎ餅を作る為に、お散歩中によもぎを探して摘んできます。

よもぎ餅は、白餅、赤餅と重ねておひな様に供える菱餅になり、女の子は着物を着て、みんなでひな祭り会を楽しみます。

よもぎ餅に使う他に、けがをした時に揉んで貼れば出血が止まることや、お灸のもぐさになること等、楽しみながら多くの学びができます。

- ・えんそく...年間を通して、天気の良い日は近くの農道や田んぼの畦道、山道などを散策していますが、地域の方々との交流の機会が多く、皆さんに愛されていることを実感しながら育っています。

かわいい笑顔で、誰にでも自然に挨拶ができ、お地蔵様にも小さな手を合わせる子どもたちの姿は微笑ましく、地域の皆さんに喜ばれています。

牛舎のかわいい『牛さん』に会えるのも、本町ならではの楽しみです。

○本物の文化・芸術との出会い

子どもたちが本物の文化・芸術に出会う機会に恵まれるように多彩な催しを企画し、子どもたちの興味・関心を高めて、未知の可能性が広がるように配慮しています。

様々な文化・芸術や、一流の色々な方々に出会うことによって興味・関心の幅が広がり、コミュニケーション能力も含めて、幅広い育ちが促されています。

又、外部の方々との交流の機会が多い為、誰でも何でも抵抗なく、自然な形で受け入れることができる素晴らしい能力と園風が培われています。

楽しいイベントのチラシを年2回新聞に折り込んだり、本町の全家庭、市の子育て支援課窓口、市民センター、保健センター、児童館、図書館、病院、コミュニティーセンター、子育て支援施設等に置かせていただいたりして外部の方にもお知らせし、参

加や体験を促しています。（合計24,000枚）

- ・人形劇鑑賞...小学校や支援学校の生徒、家庭保育の親子、一般の方等、色々な方と一緒に人形劇を楽しみながら感動を共有し、想像力や感性が高まり、地域の皆さんとの交流も深まって更に身近に感じていただいています。
- ・アート・ワークショップ...様々なアーティスト、絵本作家、ファッションデザイナー、芸大学生、画家、陶芸家、空間デザイナー等、一流の芸術家を招いて本物の芸術に触れ、種々の芸術体験を通して想像力・創造力・感性が高まっています。又、普段会えない一流のアーティストとの出会いが、子どもたちの興味・関心や未知の才能の開花に繋がっています。
- ・こども美術展...中学校跡に作られた『本町ふるさと美術館』に、子どもたちの様々な作品を展示して地域の皆様に楽しんでいただき、地域との交流に役立っています。親子で観に行ったらほめられることで子どもたちの頑張りが認められ、それぞれの子どもの喜びや達成感、自信に繋がっています。
又、保護者の感想文を載せた『こども美術展だより』を配布し、親としての喜びや満足感、わが子への愛情に満ちた言葉等を知らせています。
- ・コンサート...ピアノ、エレクトーン、バイオリン、マリンバ、クラリネット、リラ、コントラバス、サクソフォーン、カリンバ、ジェンベ、ディジュリドウ、ハーモニアン、津軽三味線、尺八、三線等、一流の奏者を招いて本物の音楽に触れて豊かな感性が育っており、「ここはとても演奏しやすい」と、子どもたちの『音を聴く力』をプロに評価していただいています。
又、小学校や支援学校の生徒、家庭保育の親子、一般の方等も一緒に楽しみ、良い交流の場にもなっています。
- ・和太鼓教室&舞台発表...月3回、外部講師を招いて和太鼓の練習を行っており、11月の『ふるさと祭り』での年長児の舞台発表を、地域の皆さんに楽しみにしていただいています。
年間を通して行う練習によって、和太鼓の上達やリズム感だけでなく、体力や精神力、達成感、協調性、郷土愛、伝統芸能継承等に繋がっており、小学生になって、天草太鼓の一員として活躍している卒園児もいます。
又、年長児には大きな自信になり、4歳以下の子どもたちにとっては、年長児への憧れや、大きくなることへの期待が膨らみ、日常の生活面でも色々なことに前向きに取り組む意欲に繋がっています。
- ・リズムランド...毎月、外部講師を招いて様々な楽器を使ったミニコンサートを行い、子どもたちと職員も含めて、穏やかで豊かな癒しの時間になっており、家庭保育の親子にとっても、ほっとできる楽しい一時になっています。
又、年長児への楽器指導もあり、楽器への親しみと奏でる喜びを体験しながら演奏技術も上達し、それぞれの自信へと繋がります。
- ・お礼の手紙...人形劇やアートワークショップ、コンサート等の講師に、年長児がみんなでお礼のお手紙を書いて送りますが、文字指導という形ではなく、大好きな人に気持ちを伝えたいという子どもたちの動機を大切にしています。
お勉強という形ではなく、みんなで楽しく手紙を書いているうちに、自然と文字や言葉への興味が沸いてくるように配慮しています。
- ・絵本の読み聞かせ&絵本貸出し...選りすぐりの絵本をたくさん用意しており、毎日の

読み聞かせを通して、子どもたちが絵本に親しみを持って想像力や感性が高まります。又、月2回の貸し出しによって親子で絵本の楽しさを共有し、親子の関わりが深まる良い機会になっています。

- ・ 創作絵ばなし制作...毎年、年長児全員で話し合ってお話作りをし、それに合った絵をみんなで話し合いながら広用紙いっぱい何枚も描いて完成し、12月のおゆうぎ会で発表しますが、優しいお話と力強い絵が描かれた立派な作品に、会場からは感嘆のため息がもれます。みんなで力を合わせ、頑張った『絵ばなし』をほめられて、嬉しい達成感と同時に制作中の充実感も甦り、嬉しさ満開の思い出深い一日になります。

職員はなるべく手も口も出さず、子どもたちが内包する『子ども力』を信じて作品の完成を待ちますが、自分たちで考えて、協力しながら意欲的に作品作りに向き合っている子どもたちは、信じて待っている大人に、予想の何倍も応えてくれるたくましい存在です。

又、保護者の感想文を載せた『おゆうぎ会だより』には、わが子への深い愛情が溢れた嬉しいお便り満載ですが、職員への感謝や労いの言葉も多く寄せられて、保育者冥利に尽きる嬉しい日になります。

- ・ 詩 の 朗 誦...おゆうぎ会の発表の中でも、子どもたちの大好きな詩の朗誦は、3・4・5歳の子どもたちが長い詩を暗記して、みんなで大きな声で発表しますが、淀みなく湧き出てくる言葉の束に圧倒され、会場全体が一瞬静まり返り、その後大きな拍手が起こります。

記憶力が高く、何でも素直に無条件に吸収できる幼児期に、素晴らしい詩文を暗唱・朗誦することは、これからの人生に大いなる潤いをもたらすと信じ、子どもたちの可能性を信じて見守っています。

- ・ 国 際 交 流...月2回、イギリス人に来ていただいて一緒に遊びながら交流し、海外の色々なことに興味・関心を持つきっかけとなっており、家庭保育の親子にとっても、異文化に触れる良い機会を提供できて喜ばれています。
- ・ そ の 他...フラメンコ鑑賞、インド舞踊鑑賞、インド人の講話、インドの楽器演奏、インド政府公認ヨーガ講師によるヨーガ、パントマイム、エアロビクス、パフォーマンス、猿回し、中国人講師による本場の水餃子作り等

○体験入園

家庭保育の親子にも、園児と一緒に色々なイベントを楽しんでほしいということで、広くチラシを配布して様々なイベントへの参加を促しています。(24,000枚)

新聞折込(年2回)、本町の全家庭、市子育て支援課窓口、市民センター、児童館、保健センター、図書館、病院、コミュニティーセンター、子育て支援施設等

○本物の味を伝えて正しい味覚が育ちます。

食は保育の一環として重要視しており、子どもたちに本物の味を伝え、正しい味覚を育てることを大切な役目と考えています。

昆布や鰹節のだしを取り、鶏がらからスープを取ることを調理の基本として、砂糖は黒砂糖、塩は岩塩とミネラル豊富な調味料を使い、旬の食材を使った季節感溢れる給食を心がけています。

給食の献立名も、子どもたちが親しみやすくかわいい名前にしたり、食事中はクラシック音楽を流したりして楽しい食事環境を整え、手間暇をかけた愛情たっぷりの給食によって、子どもたちが心身ともに健やかに育つように配慮しています。

食器の役割も大きいと考えており、色、形、サイズと色々な陶磁器の食器を揃え、料理に合った食器に盛り付けて塗のお盆にバランス良く乗せ、お茶もお湯呑を使って、家庭に近い形で給食を楽しんでいます。

○三代交流会『七夕会』

昭和62年より、祖父母や地域の老人会との交流会としてスタートしましたが、いつもかわいがってくださるおじいちゃんやおばあちゃんをもっと好きになって、高齢者を尊敬できる優しい子どもに育ってほしいという思いと、高齢者から保護者世代へ、保護者から子どもたちへ、世代間の伝承活動を促したいという思いもありました。

当初は、広い園庭全体を使って、色々な伝承遊びを教えていただいて一緒に遊んだり、郷土料理を一緒に作ったりして楽しい交流をしていましたが、平成14年以降は、七夕会として楽しい交流が続いており、最近は四世代での参加も増えています。

○敬老レター

毎年、敬老の日に向けて、大好きなおじいちゃん、おばあちゃんへのお手紙を書いて、郵便局のポストに、一人ひとり背伸びをしながら自分の手紙を投函します。

書く前に祖父母の優しい顔を思い浮かべ、書きながら穏やかな声が耳の奥に聞こえ、投函する時に温かい言葉を思い出し、届いて「ありがとう」と言われた時に嬉しさと同時に祖父母の深い愛情を感じ、子どもたちは優しく温かい空気に包まれながら素直で心優しく育っていきます。

○保護者支援

- ・子育て講演会...保護者の為の子育て講演会を開催して育児への理解を深め、意識の向上を図って育児不安等を解消していただき、地域の子育ての核として健全な子育てを支援できるように努めています。
- ・おしゃべり会...毎月1回、コーヒーとお茶菓子を用意して懇談会を開いています。
子育て談義や悩み相談、友達作り、リフレッシュ、給食の試食、レシピ配布、家庭保育の親子の息抜き等々、子育て中の方々のほっとできる空間になっています。
- ・フリーマーケット...年に2回、子ども用品その他、何でもOKのお店を開店しています。
何でも持ち込み自由のお店には、服や靴、おもちゃにバッグに手芸品、帽子やお皿やコーヒーカップ、花瓶や井等の他、お米やきゅうりやじゃがいも等が並ぶこともあり、楽しそうな親子と地域の皆さんで賑わいます。
又、外部からの出店も多くなり、年に2回の出店とお買い物を楽しみにしていただいて、遠くからのお客様も年々増加傾向にあります。

○地域との交流

いつもお世話になっている地域の方々と一緒に、色々なことを体験させていただきたいということで、地域の行事にはなるべく参加するように努め、保育園の行事にも

いつでも遠慮なく参加して下さるように、体験チラシで呼びかけています。

地域の皆さんの穏やかで優しい人柄に触れて、子どもたちの中からたくさんの優しさが引き出され、素直で思いやりのある子どもたちが育っています。

- ・町民体育祭、ふるさと祭りへの参加
- ・小学校や支援学校行事への参加やマラソン応援、授業参観
- ・保育園の各種行事への招待・参加、保育体験、園庭解放
- ・市や社協、商店街、民間団体等の行事への参加協力
- ・病院や施設慰問、ボランティア清掃等

○居心地の良い職場環境

職員にとって居心地の良い場所が子どもたちにとっても心安らぐ場所であり、保護者がわが子を安心して託せる場所であると考えており、みんな仲良く、いつも笑顔で、楽しく温かい空気に満たされた保育園です。

育児中の職員も多く、子どもの発熱等の場合はすぐに早退することができ、産休明けや育休明けには就業中の授乳を認め、時間の融通も利くので、安心して子育てができると、喜んで仕事に励んでいます。

毎月のお誕生会では、子どもたちだけでなく、誕生月の職員も一緒にみんなでお祝いしますが、大人が仲良く笑顔でいる姿は最高の保育環境だと思っています。

今後もみんなで助け合いながら、「お蔭さま、お互いさま」という気持ちで、楽しい職場環境を維持していきたいと考えています。

3 評価結果総評

特に評価の高い点

1 鈴木神社（天草の守り神）の傍にあります

本渡本町保育園は、島原の乱の後（1840年）に代官となり、一命を賭して島民の減税を願い出た鈴木重成公を祀る神社の傍にあります。

設立時は農協立で、元々地域と深い関わりがあります。天草市の中心部から離れており、一時期園児が30人を下回ることもありましたが、長期にわたる園の献身的努力により、利用数68人まで回復しています。園に対する保護者の支持は高く、保護者は遠方からも送迎しています。

2 本物の芸術に多く触れ、視野が広くなり受容の姿勢が表れる

「子ども達に本物の文化・芸術を体験させたい」との施設長の思いから、地域と共同で又は独自に、多彩な催しを毎年、企画・開催しています。園の遊戯室や近隣の小学校で行われる催しは、絵画・ファッション・空間芸術などの「アート・ワークショップ」、ピアノ・ヴァイオリン・エレクトーン・リラ・サクソフォン・津軽三味線・沖縄三線などの「演奏会」「人形劇」「ダンス」「パフォーマンズ」や「講演会」などと多岐にわたります。

様々な文化・芸術や、一流の方々に会う事によって、興味・関心の幅が広がり、子ども達の未知の才能の開花に繋がる幅広い育ちが期待され、お遊戯会では自分たちでお話を創作しています。

質の良い芸術鑑賞の中で、創造力や素直さが醸成され、幼児でさえ静かに話を聞こうという「聴く態度」が出来ています。国際交流も、日常的に一緒に遊ぶことから始められています。

採用される保育士には全員、ピアノを始めとする一定レベル以上の音楽能力が求められ、

子どもたちの歌声は、絶叫ではないコントロールの効いたハーモニー豊かなものになっています。

3 園庭は海のイメージです

園創立50周年を記念して5年前に公園デザイナーに依頼し、園庭整備を行っています。丸太とネットが使われたオリジナルの「海賊船」、赤く塗られた「チューブスライダー」、安全なロープとエステル帆布の「ブランコ」、木製の小屋「シーハウス」ほかに砂場・鉄棒を配した、全体として【海のイメージ】となっています。園全体に木板の柵が、高く低く波状に巡らせてあります。所々に赤・青・黄などの透明なプラスチック板がはめ込まれ、登降園時、見る角度によって様々な色に視界が開けます。

4 食后感爽やかな給食

食育を保育の一環ととらえ、本物の味を伝え、正しい味覚を育てる給食作りをしています。昆布や鰹節で出汁を取り、鶏ガラでスープを作っています。砂糖は黒砂糖を、塩は岩塩をと、ミネラル豊富な調味料を使っています。クリームシチューなども「市販のルー」を使わず、鶏ガラスープをベースにしています。

食後は爽やかであり、添加物が入った食品のような「しつこさ」が残りません。食器は陶磁器を使い、全員が塗りのお膳で頂きます。良い食事が、良い感覚・体・心を作ると考えられています。

改善を求められる点

1 有給休暇取得率の向上

基本的な福利厚生制度が就業規則や育児・介護・看護休暇等の規程により運用されています。ワーク・ライフ・バランスに配慮してタイムカード設置による時間外勤務状況把握し、有給休暇の取得率向上の取組みが期待されます。心身の健康維持向上の取組として予防接種の費用助成なども期待されます。

2 大人用のトイレの改善

園の施設はバリアフリーとなっておらず、特に大人用のトイレが狭く段差もあり、不便を感じます。文化・芸術や地域交流での来訪者が多いことを考えると、長期的視点に立った改善も望まれます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント(400字以内)

(H28.3.14)

今回、初めて第三者評価を受審しましたが、委員会を設置して主体的に話し合いの場を持ち、保育内容等について協議・検討を重ねた結果、多くの気づきと学びがあり、全職員の共通理解が深まりました。

評価結果総評で特に評価の高い点として、当園が中心に据えてきた保育の方向性が認められた事は、全職員の大きな自信と誇りになり、今後の励みになりました。改善すべ

き点については適切に対応し、園内のバリアフリー化についても、予算や構造上の問題を考えながら、長期的視野に立ってより良い方向を探りたいと思います。

第三者評価受審を通して、保育・施設運営全般にわたって振り返り、見直しを行う良い機会になり、全職員が果たす役割や課題を見つめ直すことができました。今回の経験を今後の保育の質の向上に繋げ、地域の子育てセンターとしての役割を更に充実させていきたいと思います。

(別記)

(公表様式1)

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準

【保育所版】

評価機関

名 称	NPO法人だれにも音楽祭
所 在 地	上益城郡益城町福富822番地
評価実施期間	H27年7月1日～H28年2月2日
評価調査者番号	第10 - 010号
	第13 - 011号
	第13 - 008号

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称： 社会福祉法人 本町保育園 (施設名) 本 町 保 育 園	種別： 保 育 所
代表者氏名： 理事長 堀本れい子 (管理者) 園 長 堀本れい子	開設年月日：昭和37年10月1日
設置主体：社会福祉法人 本町保育園 経営主体：社会福祉法人 本町保育園	定 員： 60名 (利用人数) 68名 (H27.12月現在)
所在地：〒863-0007 熊本県天草市本町本 772番地1	
連絡先電話番号： 0969—22—3871	FAX番号： 0969—22—3871
ホームページアドレス	http://www.ans.co.jp/n/honmachi/

(2) 基本情報

サービス内容(事業内容)	施設の主な行事
第二種社会福祉事業(保育所) 乳幼児の保育 延長保育 育児講座 体験入園 軽度障がい児保育 学童保育(自主事業) 一時預かり保育(自主事業) 園庭解放	入園式、卒園式、創立記念の会 運動会＆運動会だより、おゆうぎ会＆おゆうぎ会だより 誕生会、クリスマス会、節分の会、ひな祭り会、お別れ会 もちつき、カレー作り＆お買い物、お店屋さんごっこ 歓迎遠足、お別れ遠足、バス遠足、えんそく 人形劇、アート・ワークショップ、コンサート 和太鼓教室、リズムランド、国際交流 こども美術展(会場；本町ふるさと美術館)＆こども美術展だより、絵本貸出し 愛宕様山登り、川遊び、プール遊び、スイミング、野菜栽培、干し大根作り、芋掘り＆クッキング、七草つみ 身体測定、園児健康診断、歯科検診＆指導、蟻虫検査 交通訓練、避難訓練(火災・地震・風水害) 保育参観、子育て講演会、おしゃべり会(保護者向け育児相談・食事指導・リフレッシュ等)、フリーマーケット 三世代交流会『七夕会』、敬老レター 町民体育祭参加、ふるさと祭りに和太鼓出演＆作品展示 ボランティア清掃(本町コミュニティーセンター) 施設慰問、体験入園(チラシ配布；24,000枚)

居室概要		居室以外の施設設備の概要				
保育室、沐浴室、調乳室 遊戯室、調理室、食糧保管庫 事務室・医務室、トイレ 職員休憩室		大型遊具（チューブスライダー、バイキングシップ、 シーハウス他）、園庭（800㎡）、砂場、倉庫 蜂の巣形菜園＆デッキ、紫外線カット屋根付きプール 紫外線カット屋根付き駐車場＆エントランス				
職員の配置						
職	種	常 勤	非常勤	資 格	常 勤	非常勤
園	長	1		保 育 士	1 2	2
主任	保育士	2		幼稚園・小学校教諭	1 2	1
保 育 士		9	2	調 理 師	3	1
調 理 員		2	1	チャイルドマインダー	1	
事 務 員			1	リトミック指導資格	1	
用 務 員			2	介護福祉士	1	
合	計	1 4	6	合 計	3 0	4

資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入してあります。

複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

2 理念・基本方針

保育理念

子ども一人ひとりの人権や主体性を尊重し、心身ともに健やかな成長ができるように優しく温かく見守ります。又、家庭や地域との連携を図りながら、保護者や地域の子育て家庭に寄り添い、皆様から信頼され愛される保育園をめざします。

保育方針

- 自然に学び、絵本や本物の芸術に触れて感性豊かに育つ保育
- みんなで頑張る楽しさを知り、充実感や達成感を共有できる保育
- 子ども自身が生まれつき授かっている成長力を信じて待つ保育

こんな子どもに

- ・明るく素直で心身ともにたくましい子ども
- ・人にも物にも感謝できる心豊かな子ども
- ・自分で考えて意欲的に行動できる子ども

こんな保育園に

- ・子どもたち一人ひとりを大切にする保育園
- ・明るく楽しく笑顔あふれる保育園
- ・保護者や地域の皆様に信頼され、愛される保育園

こんな給食を

- ・新鮮な旬の素材を使った季節感あふれる給食
- ・昆布や鰹のだし、鶏がらスープを使った本物の味

- ・陶磁器の食器でいただく温もりのある給食

3 施設・事業所の特徴的な取組

○安心安全

本町保育園は四方を山に囲まれ、田んぼや畑や竹林を通して来る風も心地よく、毎日『森林浴』気分では豊かな時間を過ごすことができる静かな環境にあり、標高が高い為に水害の心配もなく、安心・安全な保育園です。

地域の皆さんも、お散歩中の子どもたちの声が聞こえると必ず声をかけてくださり、子どもたちのおしゃべりにつき合ったり、一緒に七草つみをしたりして、いつも優しく温かい心をかけていただいています。

○豊かな自然環境

豊かな自然環境に恵まれており、日々自然の恩恵を受けながら、色々な楽しい取り組みを行っています。

恵まれた自然環境から学ぶことは限りなく、山や川、虫、道端の草花、蝉の声、小川のせせらぎ、風の音等、豊かな保育材料の宝庫である自然に感謝し、様々な本物に出会い、優しい地域の方々に見守られながら、心豊かな体験を通して強い身体と優しい心、豊かな感性が育っています。

- ・愛宕様山登り...毎日保育園から憧れの眼差しで見ている愛宕様に、卒園前の子どもたちがみんなで助け合い、協力しながら頑張って登ります。

3・4歳児は、次に登ることを期待しながら年長児を見送り、無事山登りから帰った年長児には尊敬の眼差しが注がれ、年長児は達成感と同時に誇りと自信に満ち溢れ、満面の笑みがこぼれます。

年長児だけができることを設定し、子どもたちが大きくなることに期待を持って、意欲的に生活できるように配慮しています。

- ・川 遊 び...夏の暑い日に、草履ばきで川遊びに出かけます。

蟹を捕まえたりメダカを探したりしながら涼しさを堪能し、同時に川の石は丸いことや苔の生えた石は滑ること、苔の匂いと陽向の匂いの違い等、五感をフル稼働させて自然の素晴らしさを無心に無条件に受け取って学んでいく子どもたちの姿を、職員全員で眩しい思いで見守っています。

以前は、川で冷やしたスイカでスイカ割りをしてみんなで食べていましたが、現在は安全面を考慮して、残念ながらその楽しみはなくなりました。

自然は最高の学びの宝庫であり、何よりも素晴らしい保育材料であることを日々実感し、自然に感謝しながら、子どもたちの内側からほとばしり出る育ちを信じて、さり気なく温かく見守っています。

- ・野 菜 栽 培 ...園庭に設置した蜂の巣形の畑に季節の野菜を栽培し、水やりをして観察し、その成長を楽しみにしながら色々な学びがあり、収穫の喜びと共に、給食に出る野菜の新鮮なおいしさを実感して野菜大好きになります。

- ・干し大根作り...畑で栽培した大根をみんなで収穫し、年長児が干し大根作りに挑戦し

ますが、細心の注意を払いながら大根を切っている顔は真剣そのもので、3・4歳児が見守る中で、自分たちだけが出来る特別なことという満足感と喜びに溢れ、年長児としての自覚が高まります。

給食に出る干し大根は最高に美味しく、「おいしいね。ありがとう」とみんなからお礼を言われた時の達成感と満足感は、最高潮に達します。

- ・カレーパーティー...畑で獲れた野菜の他に、年長児が2キロの道のりを歩いて材料を買いに行き、みんなでカレーを作って園児全員で会食をしますが、自分たちが作ったカレーは特においしく、お代わり続出の嬉しい日になります。

「これまでで一番おいしい。ありがとう」と喜ばれて人に感謝される喜びを覚え、その後は家でお手伝いをする子どもが増え、親御さんにほめられてお手伝い上手になり、更にお片づけ上手になり...と、就学に向けても、良い循環が始まります。

- ・一人一粒種まき運動...家庭にある種を持参して自分の手で蒔き、水やりをしながらその生長を楽しみに待ちます。

自分の種がどんな風に芽が出て何になるのか、毎日畑に行ってそれぞれの生長を楽しみにしており、野菜や豆等が獲れて給食に出ると大喜びし、「○○ちゃんの豆はおいしいね。ありがとう」と、感謝の気持ちを表して認め合い、お互いに相手の気持ちを思いやる基礎が育っていきます。

- ・七草摘み...1月7日の朝から、近所の田んぼや畑に出かけて七草摘みをします。

「せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ これぞ七草」と歌うように唱えながら、みんなで七草を探して歓声を上げます。

おやつには、みんなで摘んだ七草入りの七草がゆをいただいて健康を願い、家に持ち帰った七草は、おかゆだけでなく、お母さんのアイディアでお寿司や混ぜご飯、すまし汁等に変身して、家族みんなの健康を願います。

- ・よもぎ摘み...よもぎ餅を作る為に、お散歩中によもぎを探して摘んできます。

よもぎ餅は、白餅、赤餅と重ねておひな様に供える菱餅になり、女の子は着物を着て、みんなでひな祭り会を楽しみます。

よもぎ餅に使う他に、けがをした時に揉んで貼れば出血が止まることや、お灸のもぐさになること等、楽しみながら多くの学びができます。

- ・えんそく...年間を通して、天気の良い日は近くの農道や田んぼの畦道、山道などを散策していますが、地域の方々との交流の機会が多く、皆さんに愛されていることを実感しながら育っています。

かわいい笑顔で、誰にでも自然に挨拶ができ、お地蔵様にも小さな手を合わせる子どもたちの姿は微笑ましく、地域の皆さんに喜ばれています。

牛舎のかわいい『牛さん』に会えるのも、本町ならではの楽しみです。

○本物の文化・芸術との出会い

子どもたちが本物の文化・芸術に出会う機会に恵まれるように多彩な催しを企画し、子どもたちの興味・関心を高めて、未知の可能性が広がるように配慮しています。

様々な文化・芸術や、一流の色々な方々に出会うことによって興味・関心の幅が広がり、コミュニケーション能力も含めて、幅広い育ちが促されています。

又、外部の方々との交流の機会が多い為、誰でも何でも抵抗なく、自然な形で受け

入れることができる素晴らしい能力と園風が培われています。

楽しいイベントのチラシを年2回新聞に折り込んだり、本町の全家庭、市の子育て支援課窓口、市民センター、保健センター、児童館、図書館、病院、コミュニティーセンター、子育て支援施設等に置かせていただいたりして外部の方にもお知らせし、参加や体験を促しています。（合計24,000枚）

- ・人形劇鑑賞...小学校や支援学校の生徒、家庭保育の親子、一般の方等、色々な方と一緒に人形劇を楽しみながら感動を共有し、想像力や感性が高まり、地域の皆さんとの交流も深まって更に身近に感じていただいています。
- ・アート・ワークショップ...様々なアーティスト、絵本作家、ファッションデザイナー、芸大学生、画家、陶芸家、空間デザイナー等、一流の芸術家を招いて本物の芸術に触れ、種々の芸術体験を通して想像力・創造力・感性が高まっています。又、普段会えない一流のアーティストとの出会いが、子どもたちの興味・関心や未知の才能の開花に繋がっています。
- ・こども美術展...中学校跡に作られた『本町ふるさと美術館』に、子どもたちの様々な作品を展示して地域の皆様に楽しんでいただき、地域との交流に役立っています。親子で観に行ってもめられることで子どもたちの頑張りが認められ、それぞれの子どもの喜びや達成感、自信に繋がっています。
又、保護者の感想文を載せた『こども美術展だより』を配布し、親としての喜びや満足感、わが子への愛情に満ちた言葉等を知らせています。
- ・コンサート...ピアノ、エレクトーン、バイオリン、マリンバ、クラリネット、リラ、コントラバス、サクソフォーン、カリンバ、ジェンベ、ディジュリドウ、ハーモニアン、津軽三味線、尺八、三線等、一流の奏者を招いて本物の音楽に触れて豊かな感性が育っており、「ここはとても演奏しやすい」と、子どもたちの『音を聴く力』をプロに評価していただいています。
又、小学校や支援学校の生徒、家庭保育の親子、一般の方等も一緒に楽しみ、良い交流の場にもなっています。
- ・和太鼓教室&舞台発表...月3回、外部講師を招いて和太鼓の練習を行っており、11月の『ふるさと祭り』での年長児の舞台発表を、地域の皆さんに楽しみにしていただいています。
年間を通して行う練習によって、和太鼓の上達やリズム感だけでなく、体力や精神力、達成感、協調性、郷土愛、伝統芸能継承等に繋がっており、小学生になって、天草太鼓の一員として活躍している卒園児もいます。
又、年長児には大きな自信になり、4歳以下の子どもたちにとっては、年長児への憧れや、大きくなることへの期待が膨らみ、日常の生活面でも色々なことに前向きに取り組む意欲に繋がっています。
- ・リズムランド...毎月、外部講師を招いて様々な楽器を使ったミニコンサートを行い、子どもたちと職員も含めて、穏やかで豊かな癒しの時間になっており、家庭保育の親子にとっても、ほっとできる楽しい一時になっています。
又、年長児への楽器指導もあり、楽器への親しみと奏でる喜びを体験しながら演奏技術も上達し、それぞれの自信へと繋がります。
- ・お礼の手紙...人形劇やアートワークショップ、コンサート等の講師に、年長児がみんなでお礼のお手紙を書いて送りますが、文字指導という形ではなく、大好

きな人に気持ちを伝えたいという子どもたちの動機を大切にしています。

お勉強という形ではなく、みんなで楽しく手紙を書いているうちに、自然と文字や言葉への興味が湧いてくるように配慮しています。

- ・絵本の読み聞かせ&絵本貸出し...選りすぐりの絵本をたくさん用意しており、毎日の読み聞かせを通して、子どもたちが絵本に親しみを持って想像力や感性が高まります。又、月2回の貸し出しによって親子で絵本の楽しさを共有し、親子の関わりが深まる良い機会になっています。

- ・創作絵ばなし制作...毎年、年長児全員で話し合ってお話作りをし、それに合った絵をみんなで話し合いながら広用紙いっぱい何枚も描いて完成し、12月のおゆうぎ会で発表しますが、優しいお話と力強い絵が描かれた立派な作品に、会場からは感嘆のため息がもれます。みんなで力を合わせ、頑張った『絵ばなし』をほめられて、嬉しい達成感と同時に制作中の充実感も甦り、嬉しさ満開の思い出深い一日になります。

職員はなるべく手も口も出さず、子どもたちが内包する『子ども力』を信じて作品の完成を待ちますが、自分たちで考えて、協力しながら意欲的に作品作りに向き合っている子どもたちは、信じて待っている大人に、予想の何倍も応えてくれるたくましい存在です。

又、保護者の感想文を載せた『おゆうぎ会だより』には、わが子への深い愛情が溢れた嬉しいお便り満載ですが、職員への感謝や労いの言葉も多く寄せられて、保育者冥利に尽きる嬉しい日になります。

- ・詩の朗読...おゆうぎ会の発表の中でも、子どもたちの大好きな詩の朗読は、3・4・5歳の子どもたちが長い詩を暗記して、みんなで大きな声で発表しますが、淀みなく湧き出てくる言葉の束に圧倒され、会場全体が一瞬静まり返り、その後大きな拍手が起こります。

記憶力が高く、何でも素直に無条件に吸収できる幼児期に、素晴らしい詩文を暗唱・朗読することは、これからの人生に大いなる潤いをもたらすと信じ、子どもたちの可能性を信じて見守っています。

- ・国際交流...月2回、イギリス人に来ていただいて一緒に遊びながら交流し、海外の色々なことに興味・関心を持つきっかけとなっており、家庭保育の親子にとっても、異文化に触れる良い機会を提供できて喜ばれています。
- ・その他...フラメンコ鑑賞、インド舞踊鑑賞、インド人の講話、インドの楽器演奏、インド政府公認ヨーガ講師によるヨーガ、パントマイム、エアロビクス、パフォーマンス、猿回し、中国人講師による本場の水餃子作り等

○体験入園

家庭保育の親子にも、園児と一緒に色々なイベントを楽しんでほしいということで、広くチラシを配布して様々なイベントへの参加を促しています。(24,000枚)

新聞折込(年2回)、本町の全家庭、市子育て支援課窓口、市民センター、児童館、保健センター、図書館、病院、コミュニティーセンター、子育て支援施設等

○本物の味を伝えて正しい味覚が育ちます。

食は保育の一環として重要視しており、子どもたちに本物の味を伝え、正しい味覚

を育てることを大切な役目と考えています。

昆布や鰹節のだしを取り、鶏がらからスープを取ることを調理の基本として、砂糖は黒砂糖、塩は岩塩とミネラル豊富な調味料を使い、旬の食材を使った季節感溢れる給食を心がけています。

給食の献立名も、子どもたちが親しみやすくかわいい名前にしたり、食事中はクラシック音楽を流したりして楽しい食事環境を整え、手間暇をかけた愛情たっぷりの給食によって、子どもたちが心身ともに健やかに育つように配慮しています。

食器の役割も大きいと考えており、色、形、サイズと色々な陶磁器の食器を揃え、料理に合った食器に盛り付けて塗のお盆にバランス良く乗せ、お茶もお湯呑を使って、家庭に近い形で給食を楽しんでいます。

○三世代交流会「七夕会」

昭和62年より、祖父母や地域の老人会との交流会としてスタートしましたが、いつもかわいがってくださるおじいちゃんやおばあちゃんをもっと好きになって、高齢者を尊敬できる優しい子どもに育ってほしいという思いと、高齢者から保護者世代へ、保護者から子どもたちへ、世代間の伝承活動を促したいという思いもありました。

当初は、広い園庭全体を使って、色々な伝承遊びを教えていただいて一緒に遊んだり、郷土料理と一緒に作ったりして楽しい交流をしていましたが、平成14年以降は、七夕会として楽しい交流が続いており、最近は四世代での参加も増えています。

○敬老レター

毎年、敬老の日に向けて、大好きなおじいちゃん、おばあちゃんへのお手紙を書いて、郵便局のポストに、一人ひとり背伸びをしながら自分の手紙を投函します。

書く前に祖父母の優しい顔を思い浮かべ、書きながら穏やかな声が耳の奥に聞こえ、投函する時に温かい言葉を思い出し、届いて「ありがとう」と言われた時に嬉しさと同時に祖父母の深い愛情を感じ、子どもたちは優しく温かい空気に包まれながら素直で心優しく育っていきます。

○保護者支援

- ・子育て講演会...保護者の為の子育て講演会を開催して育児への理解を深め、意識の向上を図って育児不安等を解消していただき、地域の子育ての核として健全な子育てを支援できるように努めています。
- ・おしゃべり会...毎月1回、コーヒーとお茶菓子を用意して懇談会を開いています。
子育て談義や悩み相談、友達作り、リフレッシュ、給食の試食、レシピ配布、家庭保育の親子の息抜き等々、子育て中の方々のほっとできる空間になっています。
- ・フリーマーケット...年に2回、子ども用品その他、何でもOKのお店を開店しています。
何でも持ち込み自由のお店には、服や靴、おもちゃにバッグに手芸品、帽子やお皿やコーヒーカップ、花瓶や丼等の他、お米やきゅうりやじゃがいも等が並ぶこともあり、楽しそうな親子と地域の皆さんで賑わいます。
又、外部からの出店も多くなり、年に2回の出店とお買い物を楽しみにしていただいて、遠くからのお客様も年々増加傾向にあります。

○地域との交流

いつもお世話になっている地域の方々と一緒に、色々なことを体験させていただきたいということで、地域の行事にはなるべく参加するように努め、保育園の行事にもいつでも遠慮なく参加して下さるように、体験チラシで呼びかけています。

地域の皆さんの穏やかで優しい人柄に触れて、子どもたちの中からたくさんの優しさが引き出され、素直で思いやりのある子どもたちが育っています。

- ・町民体育祭、ふるさと祭りへの参加
- ・小学校や支援学校行事への参加やマラソン応援、授業参観
- ・保育園の各種行事への招待・参加、保育体験、園庭解放
- ・市や社協、商店街、民間団体等の行事への参加協力
- ・病院や施設慰問、ボランティア清掃等

○居心地の良い職場環境

職員にとって居心地の良い場所が子どもたちにとっても心安らぐ場所であり、保護者がわが子を安心して託せる場所であると考えており、みんな仲良く、いつも笑顔で、楽しく温かい空気に満たされた保育園です。

育児中の職員も多く、子どもの発熱等の場合はすぐに早退することができ、産休明けや育休明けには就業中の授乳を認め、時間の融通も利くので、安心して子育てができると、喜んで仕事に励んでいます。

毎月のお誕生会では、子どもたちだけでなく、誕生月の職員も一緒にみんなでお祝いますが、大人が仲良く笑顔でいる姿は最高の保育環境だと思っています。

今後もみんなで助け合いながら、「お蔭さま、お互いさま」という気持ちで、楽しい職場環境を維持していきたいと考えています。

4 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成27年7月1日（契約日）～ 平成28年2月2日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成 年度）

5 評価結果総評

特に評価の高い点

1 鈴木神社（天草の守り神）の傍にあります

本渡本町保育園は、島原の乱の後（1840年）に代官となり、一命を賭して島民の減税を願い出た鈴木重成公を祀る神社の傍にあります。

設立時は農協立で、元々地域と深い関わりがあります。天草市の中心部から離れており、一時期園児が30人を下回ることもありましたが、長期にわたる園の献身的努力により、利用数68人まで回復しています。園に対する保護者の支持は高く、保護者は遠方からも送迎しています。

2 本物の芸術に多く触れ、視野が広くなり受容の姿勢が表れる

「子ども達に本物の文化・芸術を体験させたい」との施設長の思いから、地域と共同で又は独自に、多彩な催しを毎年、企画・開催しています。園の遊戯室や近隣の小学校で行われる催しは、絵画・ファッション・空間芸術などの「アート・ワークショップ」、ピアノ・ヴァイオリン・エレクトーン・リラ・サクソフォン・津軽三味線・沖縄三線などの「演奏会」「人形劇」「ダンス」「パフォーマンス」や「講演会」などと多岐にわたります。

様々な文化・芸術や、一流の方々に会える事によって、興味・関心の幅が広がり、子ども達の未知の才能の開花に繋がる幅広い育ちが期待され、お遊戯会では自分たちでお話を創作しています。

質の良い芸術鑑賞の中で、創造力や素直さが醸成され、幼児でさえ静かに話を聞こうという「聴く態度」が出来ています。国際交流も、日常的に一緒に遊ぶことから始められています。

採用される保育士には全員、ピアノを始めとする一定レベル以上の音楽能力が求められ、子どもたちの歌声は、絶叫ではないコントロールの効いたハーモニー豊かなものになっています。

3 園庭は海のイメージです

園創立50周年を記念して5年前に公園デザイナーに依頼し、園庭整備を行っています。丸太とネットが使われたオリジナルの「海賊船」、赤く塗られた「チューブスライダー」、安全なロープとエステル帆布の「ブランコ」、木製の小屋「シーハウス」ほかに砂場・鉄棒を配した、全体として【海のイメージ】となっています。園全体に木板の柵が、高く低く波状に巡らせてあります。所々に赤・青・黄などの透明なプラスチック板がはめ込まれ、登降園時、見る角度によって様々な色に視界が開けます。

4 食后感爽やかな給食

食育を保育の一環ととらえ、本物の味を伝え、正しい味覚を育てる給食作りをしています。昆布や鰹節で出汁を取り、鶏ガラでスープを作っています。砂糖は黒砂糖を、塩は岩塩をと、ミネラル豊富な調味料を使っています。クリームシチューなども「市販のルー」を使わず、鶏ガラスープをベースにしています。

食後は爽やかであり、添加物が入った食品のような「しつこさ」が残りません。食器は陶磁器を使い、全員が塗りのお膳で頂きます。良い食事が、良い感覚・体・心を作ると考えられています。

改善を求められる点

1 有給休暇取得率の向上

基本的な福利厚生制度が就業規則や育児・介護・看護休暇等の規程により運用されています。ワーク・ライフ・バランスに配慮してタイムカード設置による時間外勤務状況を把握し、有給休暇の取得率向上の取組みが期待されます。心身の健康維持向上の取組として予防接種の費用助成なども期待されます。

2 大人用のトイレの改善

園の施設はバリアフリーとなっておらず、特に大人用のトイレが狭く段差もあり、不便を感じます。文化・芸術や地域交流での来訪者が多いことを考えると、長期的視点に立った改善も望まれます。

6 第三者評価結果に対する事業者のコメント（４００字以内）

(H28. 3.14)

今回、初めて第三者評価を受審しましたが、委員会を設置して主体的に話し合いの場を持ち、保育内容等について協議・検討を重ねた結果、多くの気づきと学びがあり、全職員の共通理解が深まりました。

評価結果総評で特に評価の高い点として、当園が中心に据えてきた保育の方向性が認められた事は、全職員の大きな自信と誇りになり、今後の励みになりました。改善すべき点については適切に対応し、園内のバリアフリー化についても、予算や構造上の問題を考えながら、長期的視野に立ってより良い方向を探りたいと思います。

第三者評価受審を通して、保育・施設運営全般にわたって振り返り、見直しを行う良い機会になり、全職員が果たす役割や課題を見つめ直すことができました。今回の経験を今後の保育の質の向上に繋げ、地域の子育てセンターとしての役割を更に充実させていきたいと思います。

7 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

（参考） 利用者調査の手法等

調査の手法	対 象 者	対 象 数(人)	基準数に満たない場合の理由
アンケート調査	利 用 者 本 人	4 6	
	家 族 ・ 保 護 者		
聞き取り調査	利 用 者 本 人		
	家 族 ・ 保 護 者		
観 察 調 査	利 用 者 本 人		

第三者評価結果

すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

		第三者評価結果
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	- 1 - (1) - 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<コメント> 保育理念として「子ども一人ひとりの人権や主体性を尊重し、心身共に健やかな成長ができるように優しく温かく見守ります。又、家庭や地域との連携を図りながら、保護者や地域の子育て家庭に寄り添い、皆様から信頼され愛される保育園をめざします。」を掲げ、保育方針とあわせてホームページや各種資料より地域や関係機関に広く発信されています。73項目からなる具体的な職員行動基準を示し、事業計画策定など職員参画の機会をとらえて周知が図られています。保護者への周知は入園式や保護者会において説明し、園だよりなどにより継続的な取り組みがあります。		

- 2 経営状況の把握

		第三者評価結果
- 2 - (1) 経営環境の変化等に対応している。		
②	- 2 - (1) - 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<コメント> 社会福祉事業の動向については、県保育協会や県社会福祉協議会などの関係会議や情報を基に把握、分析を図っています。市の「子ども子育て支援事業計画」など地域の福祉政策や保育ニーズのデータ収集などにより中長期の経営環境の把握に努めています。		
③	- 2 - (1) - 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<コメント> 経営課題として重点4項目の「十分な職員を配置し、保育内容の充実を図る」「地域に貢献できる保育所を目指した様々な交流事業を展開する」「保護者の負担軽減を図り、育児支援の幅をさらに広げる」「職員の資質向上を図る」が掲げられています。施設整備や人事管理、保育サービスの質の向上に対する具体的な取り組みと、理事会や職員会議における課題と進捗状況の共有がなされています。		

- 3 事業計画の策定

		第三者評価結果
- 3 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	- 3 - (1) - 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<コメント>		

平成27年度から32年度の目標年次に至る基本計画と各年次の実施計画から成る中長期計画が策定されています。経営ビジョンとして「定員60名を維持できるように、園児確保に努める」「園舎等の老朽化対策の為、保育所施設・設備整備積立金の増額に努める」「職員の高齢化に備えて、人件費積立金の増額に努める」等の目標が明確にされています。4項目の重点課題と各年度の具体的な取組が示されています。事業実施に対応した各年度の収支計画が策定され、進捗状況の評価と計画見直しによるPDCAサイクルの体制整備が図られています。			
5	-3-(1)-	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> 中長期計画を反映した単年度事業計画は、具体的内容や数値目標が示され、実施状況の評価ができるよう策定されています。平成27年度事業計画は運営方針、行事計画、保育運営、給食運営、安全管理、保健衛生管理、地域連携及び第3者評価受審の各項目により編成されています。各項目は月ごとの具体的取組みと目標設定により管理されています。			
-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
6	-3-(2)-	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<コメント> 年度末において現年度事業実績見込みを把握し、小学校行事計画と連携した新年度事業計画を策定しています。計画はクラスリーダーと各業務担当職員が参画し、二人の主任の指導と園長の決裁を経て策定されます。主任やクラスリーダー、担当の実施状況評価により計画の見直しと周知が図られています。			
7	-3-(2)-	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<コメント> 入園式において、保育理念、目標と方針、事業実施体制、保育内容、健康安全管理などを網羅した入園のしおりを全世帯に配付し、保護者への丁寧な説明と周知の徹底を図っています。			

- 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

			第三者評価結果
-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
8	-4-(1)-	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<コメント> 保護者の意向は送迎時の声かけや各種のたより、連絡帳により日常の把握に努めています。職員の保育内容にかかる自己評価と面談により恒常的に評価と見直しが図られています。担当、クラスリーダー、主任、園長による職員会議など組織的な取組みがあります。			
9	-4-(1)-	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<コメント> 中長期計画において年度ごとの課題と改善計画が策定されています。改善策の実施状況の評価はクラスリーダーや主任により取りまとめられ職員会議において周知が図られています。			

評価対象 組織の運営管理

- 1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
- 1 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	- 1 - (1) - 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 園長は中長期計画や単年度事業計画において基本理念や事業目的及び経営ビジョンを掲げ、運営に関する方針を明確にしています。園長の責務については、入園のしおりや各種便りの配付と職員会議において周知に努めています。園長不在時の災害対応における権限は主任等に順次委任されています。		
11	- 1 - (1) - 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 園長は法令遵守規定を策定し、自己点検表などにより関係法令の把握に努めています。職員倫理綱領や職員行動基準を定め、研修などにより人権意識の向上や虐待防止等の徹底を図っています。		
- 1 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	- 1 - (2) - 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a ・ b ・ c
<コメント> 保育サービスの質の現状について自己評価により評価分析し、課題の改善の取組みがあります。全職員による会議や保育サービスの実施状況の自己評価の体制を組織し、面談や研修により意識の向上を図っています。		
13	- 1 - (2) - 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a ・ b ・ c
<コメント> 園長は経営に関する業務を分析し、課題を明らかにした中長期計画を策定し基本理念の実現に向けた体制の整備と意識の共有を図っています。各種マニュアルの策定により、内容、手順、配慮事項などの標準的業務を示し、組織内の共有化に努めています。		

- 2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
- 2 - (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	- 2 - (1) - 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a ・ b ・ c
<コメント> 中長期計画において期間中の人員体制に関する基本方針と各年度の具体的な計画があります。管理部門に園長職務代理者と保育部門に主任を配置し、業務の効率化と組織の活性化が図られています。職員定員管理については定年による再雇用や勤怠などを考慮した非常勤職員からの補充採用が実施されています。		
15	- 2 - (1) - 総合的な人事管理が行われている。	a ・ b ・ c
<コメント> 理念や基本方針にもとづき職員倫理綱領と職員行動基準が策定されています。保育協会に		

よる就業規則等を準用した規則による人事管理が行われています。職員自己評価や目標管理シートの2次評価と面談を併せた、一定の基準による人事考課が実施されています。		
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	- 2 - (2) - 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a ・ b ・ c
<コメント> 基本的な福利厚生制度が就業規則や育児・介護・看護休暇等の規程により運用されています。ワーク・ライフ・バランスに配慮したタイムカード設置による時間外勤務状況の把握や有休時間単位取得規定などの活用による取得率向上の取組みが期待されます。心身の健康維持向上の取組として、予防接種の費用助成なども期待されます。		
- 2 - (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	- 2 - (3) - 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 職員倫理綱領と職員行動基準が策定され期待される職員像が明確にされています。個別目標管理シートを導入し自己啓発による目標が設定されています。自己評価と目標管理設定と併せた個別面談による2次評価が行われています。		
18	- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a ・ b ・ c
<コメント> 期待される職員像として明確な行動基準が示されています。コンサートや国際交流など本物の文化・芸術に携わる専門の外部講師との交流事業があります。フッ化物洗口、パソコン、子ども相談研修など専門技術を明示した計画により研修が実施されています。		
19	- 2 - (3) - 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a ・ b ・ c
<コメント> 外部講師による園内研修や関係機関主催による職務職種別、テーマ別研修が実施されています。調理師免許取得など個別の研修機会の確保と外部研修の情報提供に配慮しています。		
- 2 - (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	- 2 - (4) - 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a ・ b ・ c
<コメント> 受入れマニュアルにおいて基本姿勢や意義、受入手順が示され体制を整備しています。社会的責務である人材育成への協力の観点からより積極的な養成校などへの情報発信が期待されます。		

- 3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
- 3 - (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	- 3 - (1) - 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a ・ b ・ c
<コメント> ホームページ等により理念や基本方針、事業内容、財務に関する情報が公開されています。創立50周年記念誌の配付や年間イベント情報のチラシ配布による広報など地域に開かれた積極的な情報発信の姿勢が見られます。		

22	- 3 - (1) - 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<コメント> 管理規程や就業規則に基づいて事業運営が行われています。経理規程により決裁権限が明確にされ、外部委託による会計処理が行われています。法人役員による内部監査が行われていますが、事業の公正性と透明性の確保の観点から外部監査の活用が期待されます。		

- 4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	- 4 - (1) - 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 中長期事業計画に「地域に貢献できる保育所を目指した様々な交流事業を展開する。」を基本方針の一つとして掲げています。人形劇鑑賞、三世代交流七夕会、コンサート、本町ふるさと美術館で行う子ども美術展、ふるさと祭り和田太鼓演奏、など本物の文化・芸術との出会いによる感性豊かな育ちを目指した保育が展開されています。地域に密着した多種多様で活発な交流事業が展開されています。		
24	- 4 - (1) - ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<コメント> ボランティア受入れマニュアルにより意義や方針、受入手順、注意事項等が規定されています。小学生による職場見学や教師の保育体験など相互協力の体制が整備されています。		
- 4 - (2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	- 4 - (2) - 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<コメント> 行政、医療、福祉など関係機関を体系的に示した社会資源リストを作成し職員周知に努めています。幼保小連携や行政の子育てサポート事業への参画による、要支援児童に関する協議などネットワークの積極的な活用が図られています。		
- 4 - (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	- 4 - (3) - 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
<コメント> 事業計画に「児童の健全育成に果たす保育所の役割を自覚し、地域の子育てセンターとしての地域貢献」が掲げられています。2,000㎡を超える敷地面積を活かした、三世代交流七夕会やフリーマーケット、おしゃべり会の育児相談事業等の子育て支援活動の拠点施設として提供されています。体験入園としてコンサート、人形劇鑑賞等多彩な年間行事の情報を新聞折込みチラシにより発信しています。まちづくりの主要な団体と連携し、地域活性化のための施設として専門性や機能を活かした幅広い活動により地域の期待に応える十分な役割が果たされています。災害時における避難等の対応について地元自治会との協議がなされています。		
27	- 4 - (3) - 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<コメント>		

保育参観、おしゃべり会、育児相談や定期的な保育所連盟園長会、子育て支援コーディネーター会議などによりニーズの把握に努めています。具体的なニーズによる一時預かりや軽度障がい児保育事業が計画されています。

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	- 1 - (1) - 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 保育理念に「子ども一人ひとりの人権や主体性の尊重」を掲げ、「子ども自身が生まれつき授かっている成長力を信じて待つ保育」を保育方針としています。職員倫理綱領や保育課程の読み合わせ等により人権擁護の周知徹底を図っています。自己チェックリストによる状況把握と対応に努めています。		
29	- 1 - (1) - 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a ・ b ・ c
<コメント> プライバシー保護マニュアルや虐待防止対応マニュアルが策定されています。職員行動基準により保育業務の場面ごとの配慮と対応が示されています。市と連携した虐待対応マニュアルによる具体例の研修により権利擁護に関する意識の向上が図られています。		
- 1 - (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	- 1 - (2) - 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a ・ b ・ c
<コメント> ホームページや市広報誌、入園のしおりの配置により情報提供が図られています。見学や体験利用には入園のしおりや各種資料により丁寧な説明に努めています。		
31	- 1 - (2) - 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a ・ b ・ c
<コメント> サービスの開始、変更時の対応については、入園のしおり、各種便りや園内設備などのわかりやすい説明に努めています。保護者の同意については書面による確認が平成 28 年度から予定されています。		
32	- 1 - (2) - 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 退園時の対応については手順と引継ぎシートによりていねいな対応に努めています。他園への移行時には主任が相談窓口カードを交付するなど配慮が見られます。		
- 1 - (3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	- 1 - (3) - 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 保護者総会や役員会、保育参観、面談において意向把握に努めています。保護者の意向は職員会議において検討され、運動会、餅つき、七夕会における行事内容の変更など具体的な		

対応が見られます。		
- 1 - (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	- 1 - (4) - 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a ・ b ・ c
<コメント> 苦情を含めた意見・要望対応マニュアルが策定され、相談解決対応の受付、解決責任者、第三者委員が設置され体制が整備されています。入園式において資料による説明と配付により周知を図っています。		
35	- 1 - (4) - 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a ・ b ・ c
<コメント> 入園式や保護者会において資料により説明し周知に努めています。相談は日常の職員の声かけや連絡帳による把握など配慮した対応がなされています。相談はいつでも、だれにでも相談しやすい雰囲気の醸成と環境の確保に努めています。		
36	- 1 - (4) - 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a ・ b ・ c
<コメント> 相談に関する対応経過が記録され、結果の説明までの迅速な対応が見られます。相談は日常の職員の声かけや連絡帳による把握など配慮した対応がなされています。相談の内容によっては職員が連携して対応し、期間を要する事案については経過の説明など丁寧な対応が見られます。		
- 1 - (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	- 1 - (5) - 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a ・ b ・ c
<コメント> 事故発生対応マニュアルによりリスクマネジメントに関する対応体制が整備されています。担当と業者による園舎、園庭、遊具の定期安全点検と対応結果が記録されています。A E D や不審者対策など関係機関と連携した取り組みにより安全意識の向上が図られています。園周辺の水路、道路、樹木など事故要因リストを作成するなどリスクマネジメントの意識の高さがうかがえます。		
38	- 1 - (5) - 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 感染症対策、衛生管理、健康管理対応マニュアルを策定し、管理体制の整備に努めています。入園式や保護者会などにおいて集団生活における予防の徹底と随時の便りによる情報提供が図られています。マニュアルは各クラスに配置し、研修や会議において意識の共有が図られています。		
39	- 1 - (5) - 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 災害対応マニュアルや消防計画により対応体制が整備され、毎月の避難訓練や消火訓練が実施されています。災害情報は市の一斉メールと防災無線による周知が図られています。地元自治会と連携し飲食料品、医薬品、日用品などの備蓄に努めています。		

- 2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
- 2 - (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	- 2 - (1) - 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a ・ b ・ c
<コメント> 福祉サービスの標準的な実施方法について「保育マニュアル」を整備しています。S I D S については、発生の危険を低くするための留意点を纏め、調乳、授乳、器具の洗浄・殺菌方法、おむつ交換、などの手順も示しています。 「プライバシー保護マニュアル」を作成し、プライバシーの尊重と保護、権利擁護の姿勢を明示しています。 保育の記録は、園長・主任が目を通したうえで評価され、園長・主任は、保育の様子にも目を届かせています。		
41	- 2 - (1) - 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ・ b ・ c
<コメント> 「保育マニュアル」は年度末に、職員全員で検証・見直しされており、今年度は10月に見直しを行っています。 職員からの意見や提案は、個人的にされるほか、クラスでの話し合いの上リーダーを通して行われています。 保護者からの提案については、今回のアンケート結果についての保育に関する「検討改善」として、保育参観日を増やしてほしい提案には、沿って行く方向とし、キッズサッカーや「子ハイヤ」(子どものハイヤ踊り)への参加については、日程的に無理があること、芸術面に力を入れたい園の考え方を、説明していく事にしています。		
- 2 - (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	- 2 - (2) - アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a ・ b ・ c
<コメント> 保育サービス実施計画策定は、各クラスリーダーにより行われ、主任・園長の決済を受けて、決定されています。 アセスメント等に関する協議は必要に応じて、市の子育て支援係・保健師・児童心理士などが参加し行われています。 天草市では、3歳児・5歳児検診があり、気になる子どもについては、第2はまゆう療育園からは、「手先や頭の訓練について」、すくすく園からは「発達障害の子どもの援助」についてそれぞれ巡回相談を受け、実際の保育を見て貰い、指導を受ける事が出来ます。 気になる子どものいるクラスには、保育士を多く配置し、パート保育士も配置の上、余裕を持って対応できるようにしています。		
43	- 2 - (2) - 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c
<コメント> 保育サービス実施計画の見直しは、全職員参加で行われる毎月の職員会議、ケース会議で行われています。緊急の場合には、臨時の会議が開かれる事もあります。 5歳児検診の際には、気になる子どものニーズがはっきりする事も多く、保育サービスの質の向上についての検討がされ、明日の保育・週案・月案などに反映されるようにしています。		
- 2 - (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		

44	- 2 - (3) - 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ・ b ・ c
<コメント> 子どもの身体状況・生活状況を把握し、記録しています。保育日誌・週案・個人の記録などは、「保育マニュアル」に記録要領が示され、クラスリーダー・主任・園長の指導も行われています。 緊急を要する情報は、「早出・遅出表」に記入し、全職員に回覧する他、午睡時にクラスリーダーにより会議を開催する場合もあり、情報は記録され回覧されています。		
45	- 2 - (3) - 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a ・ b ・ c
<コメント> 「個人情報管理保護・プライバシー保護マニュアル」が整備され、子どもの記録の保管・保存・廃棄、情報の提供に関する規定を定めています。職員に対する研修は5月の職員会議で行われています。 保護者に対しては、入園式で、途中入園の方はその都度説明し、同意を得ています。写真の掲載についても、入園の際、確認・許可を頂いた子どものみ行っています。		

評価対象

A - 1 保育所保育の基本

		第三者評価結果
A - 1 - (1) 養護と教育の一体的展開		
46	A - 1 - (1) - 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a ・ b ・ c
<コメント> ワークシート（保育課程）は保育理念・方針・目標を掲げ、保育のねらい・内容について3歳未満児は4段階に分け、以上児は3・4歳、5・6歳にわけそれぞれ養護と教育についてまとめています。 家庭との連携・支援、地域との関わりにも力を入れており、手書きの温もりを感じるものとなっています。 年度末の職員会議での反省・評価に基づき、次年度保育課程の話し合いが行われ、全職員参加の上、次年度クラスリーダーを中心に改善を行っています。		
47	A - 1 - (1) - 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a ・ b ・ c
<コメント> 各保育室は外から見ると、2階建てのように天井が高く、明るい造りになっています。空気清浄機（オゾン発生）が備えられており、普段は夜間だけ稼働していますが、冬場感染症が心配な時期は、日中の稼働も増えています。 「ももぐみ」は0・1歳児の子ども17名に5人の保育士が関わっています。年齢差がある為、柵などでコーナーを作り、温かい家庭的な保育がされています。 保育室は83㎡あり、床暖房が設置され、そのうち畳12畳が敷かれたコーナーは、ほふく室として、主に0歳児の保育が行われています。 連絡帳や保護者からの連絡を受け、登園時の視診・検温・触診などを行い記録しています。 保育担当制を取っており、日常の関わりを保つと共に、「個人別月間指導計画」を立て、「0歳児個人別保育記録」の記録をしています。 離乳食は「家庭生活状況について」により、家庭での離乳食の状況を把握し、進めています。 オムツ交換は、マットの上で行い、使用後はオスバン液での除菌が行われています。		

眠い子どもには、カーテンが閉められ、月齢によりベッドも使って、落ち着いて眠れる様にしています。散歩車・4人乗りベビーカーで戸外遊びが行われますが、体調などにより、園に残る事もあります。 乳児担当者はSIDSを含めた研修を受け、職員会議で全員に周知されています。 保護者とは、連絡帳や送迎時の会話を大切にし、必要により「個人別保育記録」の特記事項に記録されます。 更に乳児に欠かせない沐浴に関して、ベビバスで行われ、他の0・1歳児のトイレと共用との事でしたが、スペースの上でも、排水の面でも無理が大きいと思われます。中・長期的な計画の中での改善が望まれます。		
48	A - 1 - (1) - 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c
<コメント> 1歳児は0歳児と同じクラスに成っており、コーナーを分けて年齢ごとの保育も行われ、基本的な習慣について、自分でやろうとする気持ちを尊重しています。2歳児は40m²の保育室（絵本の部屋ともなっている）に16名の園児がおり、4名の保育士が関わっています。 探索活動については、それぞれの保育室の遊びだけでなく、園庭の固定遊具があります。海賊船を中心とした遊具は、子ども達の動線を考えて構成されており、どの年齢の子どもにとっても、楽しめるものとなっています。 戸外遊びで異年齢児との交流は毎日あり、毎月のように行われるイベントの際には、全園児で参加し、出演者・来訪者多数の方々との交流があります。 保護者には連絡帳・送迎時の会話・クラス便り等で、子どもの状態や育ちについて伝え、随時相談に応じています。		
49	A - 1 - (1) - 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c
<コメント> 3・4・5歳児クラスは異年齢保育をしており、33名の子どもに3名の保育士が関わっています。それぞれの担当者は決まっており、指導計画などは、全体での話し合いの上、年齢に沿った計画を担当者が策定しています。 「リトミック指導資格」を取った職員がおり、0歳児からそれぞれに応じた指導をしています。行事の無い時は、遊戯室を広く使って様々な遊びを楽しんでいます。 紫外線カット屋根が付いた、広いプールの設置がされ、水に親しむ保育が行われています。月2回「スイミング・スクール」のバスに乗り、専門講師の指導を受けています。そのため、小学校でも身体能力が高く、水泳大会で成果を挙げている卒園児もいます。 月1回音楽講師により「リズムランド」が行われています。エレクトーンにプログラムを組み込んで持参し、歌も交えて色々な楽器の演奏をして頂いています。5歳児が鍵盤ハーモニカの指導を受け、12月の発表会で披露しています。 3・4・5歳児には「天草太鼓」の講師の指導により、和太鼓の指導が月3回行われています。その中で5歳児が地域の「ふるさと祭り」の舞台発表をしています。伝統芸能の継承に力を入れる小学校に進学した卒園児は、その中心になって活動しています。 「アート・ワークショップ」は年1回行われており、その中で作った作品と、日頃の作品を含め、「子ども美術展」を開催し、今年度はファッションデザイナーの方の指導により、3・4・5歳児が、大きな布で「海賊船の旗」を製作しています。 「国際交流」として、15年程前から月2回、外国の方の訪問があります。英語教室ではなく、遊びとして関わり乍ら、言語・文化の交流をしています。 様々な保育の内容を、保護者には連絡帳・クラス便り等で伝え、小学校には園便りを送ってお知らせしています。又地域には、その年のイベントの予定を盛り込んだ、チラシを広域に、毎年2回配布しています。		

50	A - 1 - (1) - 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a・b・c
<コメント> 本町小学校との連携年間計画が立てられています。人形劇鑑賞は1年生と園児・保護者が参加、4年生との交流で園児と保護者が学校へ訪問、1・5年生と一日体験として交流など、年間16回程の交流があります。本渡北小学校や本渡南小学校と、校区の幼稚園・保育園児との交流も、年2回程催されています。 お遊戯会で「創作絵ばなし」を、子ども達の発言を基に担任が聞き取って纏め、毎年発表しています。又「アートワークショップ」で海賊船の旗作りなど、協力して作り上げる楽しみを経験しています。 保護者には「就学前の取り組み」をプリントして配布しています。その中で、12月から午睡を減らす、散歩の距離を増やす、手紙を書く・カルタ作り・カルタ取りなど文字に関心を持てるような保育をする事、ハンカチ・チリ紙を持って来る、規則正しい習慣を身に付ける、といった就学に向けた保育が行われる事を伝えています。 「保育所保育児童要録」は保護者との信頼関係を基に作成され、それぞれの小学校に送付されています。		
51	A - 1 - (1) - 職員の接し方について、児童を一人の個人として尊重する取り組みを行っている。	a・b・c
<コメント> 「職員倫理綱領」があります。子どもの最善の利益の尊重、子どもの発達の保障、保護者との協力、体罰や抑制、ふさわしくない呼称などの禁止について、取り決めてあります。 上記「倫理綱領」についての園内研修を行い、職員が参加し読み合わせをしています。		
52	A - 1 - (1) - 入園当初の環境変化に対応できるよう支援している。	a・b・c
<コメント> 入園時の面接で、家庭生活状況について、食事・排泄・睡眠・病気・遊びについて聞き、その他として、アレルギーなどについても把握しています。 入園希望者には、園の見学や保育への参加と、園のイベントへの参加を促しています。 慣らし保育は、一週間ほどかけて保護者との相談の上行われています。		
A - 1 - (2) 環境を通して行う保育		
53	A - 1 - (2) - 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<コメント> どの保育室も天井が高く窓が多く、採光や換気に優れています。クリーンパワーの空気清浄機が稼働しています。又パート職員が4名おり、屋内の清掃、窓ふき、園庭の草取りまで、掃除の手が届いています。 寝具は、毎週シーツは持ち帰り洗濯され、布団は天気の良い時、南側のフェンスで日に干しています。 トイレは2歳以上児が一緒に使っており、出入り口の左・右に手洗いが付いています。便器は従来の和式に加えて、ウォーム便座を2か所新設しています。 集団の中で、落ち着かない子どもがいる場合は、主任保育士が「特別支援コーディネーター」になっている事で、職員室で落ち着くまで、クールダウンしています。 保育室は白を基調に、家具・遊具は木製が多く、落ち着いた雰囲気となっています。		
54	A - 1 - (2) - 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a・b・c

<コメント> 「本町保育園職員行動基準」に基づき、人権に配慮した環境作りが行なわれています。 3歳以上児は歯磨きの際にCDを掛けて、メロディに合わせて楽しく歯磨きをしています。5歳児には、保護者の同意を得てフッ素洗口が行われています。 園庭では、海賊船・つり橋・チューブスライダー・鉄棒・座面がエステル帆布になっているブランコなどがあり、室内でも、鉄棒・平均台・跳び箱マットなどが用意され、組み合わせて「巧緻競争」を運動会で披露しています。		
55	A - 1 - (2) - 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<コメント> 2歳半位からルールを守って協同して遊ぶ、鬼ごっこ・椅子取りゲーム・フルーツバスケットや、伝承遊びの、はないちもんめ・子トロなどの遊びをしています。2011年の50周年の際は保護者も一緒に、伝承遊びやゲームが行われています。 3歳以上児は、異年齢集団になっており、その中でも4・5歳の組み合わせで当番活動が行われています。お集りの号令掛け・誕生会の挨拶・掃除・給食の配膳・野菜の水やり・雑草抜きなど様々な当番活動が行われています。		
56	A - 1 - (2) - 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがわれるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<コメント> 菜園で植物を育て、サワガニ・メダカ・ちょう・セミ・カブトムシ・青虫・牛・イルカ(イルカワールドにて)など動植物と接する機会は沢山あります。 「ボランティア清掃」を行っており、地域の公民館の周囲を子ども達が掃除しています。 本町中学校跡の「本町ふるさと美術館」で夏に1週間「子ども美術展」として、全園児の作品を額に入れて展示しています。 地域の「鈴木神社」には散歩や遠足で出かけ、市民センターの美術展などには、ジャンボタクシーを利用して出掛けています。 伝統的行事としては、「ふるさと祭り」に和太鼓の演奏で参加し、「七夕会」「七草摘み」などの取り組みを行っています。		
57	A - 1 - (2) - 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<コメント> 職員が大型紙芝居を手作りしています。飛び出す絵本を参考にして、飛び出して棒で動かしたり、糸で操ったりするもので、「はなさかじいさん」「浦島太郎」など6話作り、誕生会などのイベントに活用されています。 3歳以上児ではホワイトボードに「明日持って来るもの」を書いたり、「明日は○月○日」などの文字や数字を書いたりしています。イベントなどに参加された方々へ、5歳児がお礼の手紙を書いて、投函しています。 「お遊戯会」で「言語劇」を2歳以上児がそれぞれ取り組んでいます。2歳児は絵本「もりのおふろ」、3歳児はロシアの絵本「てぶくろ」を全て自分達で、セリフを覚えて演じています。4・5歳児は歌や踊りも取り入れた「浦島太郎」を題材に選び、セリフは絵本を参考にして自分たちで考え、発表しています。		
58	A - 1 - (2) - 施設・設備に関して、子ども・保護者や来所者が利用しやすいよう配慮した取り組みを行っている。	a・b・c
<コメント> 各部屋やトイレは、わかりやすく案内表示が出されています。 園内には玄関・各部屋の入口に段差があり、車椅子での自力走行には、無理があると思わ		

れます。以前障がいのある園児が在籍した時は、職員の人的支援体制の下、不便なく就学まで保育園生活を送っています。 大人用トイレが狭く段差があり、障がいの有る方や高齢の方には、不便が感じられます。文化・芸術面や、地域交流の来訪者が多いことから、改善が望めます。 施設面の改善は職員会議で提案が行われています、その中で今年度は、市営の上水道を引いています。セキュリティの見直しをし、防犯カメラを設置、防犯ベルを2か所取り付けしています。		
A - 1 - (3) 職員の資質向上		
59	A - 1 - (3) - 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a・b・c
<コメント> 職員の行動基準を設定しており、その中から職員其々が3項目抜き出して、自分の目標を決めています。その上で年度末に自己評価し、園長の評価を受けています。 保育総合研究会監修の「自己チェックリスト100」に基づき、保育の見直しをしています。又、400項目の「新保育所保育指針に基づいた自己チェックリスト」で3期に分けて、保育の見直しをし、主任・園長の評価を受けています。		

A - 2 子どもの生活と発達

		第三者評価結果
A - 2 - (1) 生活と発達の連続性		
60	A - 2 - (1) - 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a・b・c
<コメント> 家庭状況調査票・身体発育記録は入園時に把握され、その後は保護者からの情報を受け、把握しています。 保育者は常に優しく、丁寧で家庭的な対応を心掛けています。 園児が登園を嫌がる時は、園児の気持ちを十分に受容し、保育士や大好きなお友達が優しく声をかけて丁寧にに関わり、登園する意欲や活動への楽しみが持てるようにしています。また、保護者の気持ちも配慮して、安心して子どもと関わるような言葉かけをしています。		
61	A - 2 - (1) - 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
<コメント> 施設には幾らかの段差はあるものの、障がいのある園児の受入は、複数実績があり、人的支援の態勢があります。駐車場から玄関までスロープが付いており、屋根があるため、雨の日でも濡れずに建物に入ることが出来ます。 市の特別支援コーディネーター会議において、「個別の教育支援計画」を小学校の書式を基に作成し、障害の有る子どもの支援をしています。 市の保健センター便りで「気になる子どもの行動と具体的な対応方法」などの印刷物が届いた時は保護者に配布し、又講演会のポスターを貼るなど、保護者に情報を伝えています。		
62	A - 2 - (1) - 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
<コメント> 畳やマットなどの寝転ぶことができる環境があり、家庭的雰囲気があります。 異年齢で過ごす時間が作られ、要求に答えて抱いたり、声を掛けたりして優しく対応しています。 「早出・遅出表」により、職員間の引継ぎを行い、保護者には連絡帳の記入も合わせて、		

連携を図っています。 夕方は、6時までの保育時間となっており、家族揃っての夕食に配慮して、基準上は求められている軽食などは提供して居ません。乳児の授乳時間には、適切に対応しています。		
A - 2 - (2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
63	A - 2 - (2) - 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a・b・c
<コメント> 既往症・予防接種の状況は、入園時に身体発育記録により把握し、その後は連絡帳・日々の会話などで把握し記録されています。 「健康管理マニュアル」が作成され、登園時の対応 病後の子どもの受入 健康観察のポイントなどについて、詳しく纏めてあります。別に「感染症対応マニュアル」「保健計画」の作成がされています。		
64	A - 2 - (2) - 食事を楽しむことができ工夫をしている。	a・b・c
<コメント> 毎月19日を食育の日としており、食にちなんだ絵本・紙芝居を読んでいます。毎日の献立を必ず園児に伝え「切り干し大根は年長さんが切って干したもの」「目が良くなる栄養が入っています」などと、食べ物に関心を持つようにしています。 春には、園のシンボルツリーのさくらの下で、ブルーシートを広げ給食を食べます。以前は「おにぎり遠足」が行われていましたが、今は月1回リュックと水筒を持って遠足に行き、帰ってから園庭で給食を食べています。 菜園で、キュウリ・なす・インゲン・大根・カブ・じゃがいも・人参など、種から蒔いて育てています。収穫した物は、カレーやサラダに入れ、さつま芋チップスや、切り干し大根なども、給食やおやつに出されます。		
65	A - 2 - (2) - 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a・b・c
<コメント> 調理担当者は、「給食日誌」の記録をしています。検食は10時半頃に園長が行っており、味付けの要望なども、必要があれば伝え、改善されています。 行事食は、「菜の花そうめん」「たけのこご飯」「生茶葉入りシフォンケーキ」「七草がゆ」「鬼っ子ハンバーグ」「おひなさまランチ」「いがぐり坊や」(さつま芋にそうめんをまぶして揚げる)などネーミングも職員全体で話し合って決め、提供されています。 食器も園長の、「本物を使わせたい」思いで、持ちやすい陶器で白を基調に、可愛い模様が付いたものを使っています。未満児には軽く持ちやすい、セラミックスが使われ、トレーは黒塗りの物で赤の縁になっています。 3人の調理員が毎日、別々の保育室に入り、こどもの食べる様子を見乍ら、一緒に食べています。又毎日の献立を写真に撮り記録し、色味のバランスなどを考え、次に生かす材料にしています。		
66	A - 2 - (2) - 食育の取り組みを行っている。	a・b・c
<コメント> 「食育計画」は保育計画に位置づけられ、「給食指導年間計画表」が作成されています。 毎月職員全体で、メニュー検討を行い、次月の献立に活かしています。 食材は地元のJAやらくのう牛乳から仕入れています。が、「カレー作り体験」の前日は、5歳児がリュックサックを背負って、3kmほど歩き、安心安全な野菜を仕入れています。 保護者参加により、中国出身の方を講師に、本場の「水餃子」をつくり国際交流も兼ねた調理実践を行ったこともあります。 伝統的な食文化としては、「がねあげ」(拍子木切りのさつま芋を小麦粉で纏めて揚げ		

る)・「芋団子」・「だご汁」・「はったいこのあべかわ」(麦こがし)などが出されています。		
67	A - 2 - (2) - 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a・b・c
<コメント> 健康診断は年2回、歯科診断・蟻虫検査が1回ずつ行われ、記録により職員に周知されています。 保護者には、歯科検診結果については、虫歯があるかどうかを知らせ、「虫歯予防の知識」を配布しています。健康診断結果については、口頭で伝えています。 3歳児から歯磨きが行われ、5歳児には保護者の同意を受けた上で、フッ素洗口が行われています。		
A - 2 - (3) 健康及び安全の実施体制		
68	A - 2 - (3) - アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a・b・c
<コメント> 食物アレルギーの有る子どもには、検査結果をコピーして提出を受け、除去の指示も写しを取っています。 食事は、除去を確実にいき、見た目・味共に同じ様に整えて、食札を立てて間違いの無い様に提供しています。調理員が多く配属されている為、丁寧な対応がなされています。		
69	A - 2 - (3) - 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a・b・c
<コメント> 施設長は、衛生管理の取り組みに、リーダーシップを発揮しており、「保健衛生係」が担当者となっています。 4月・10月の年2回、保健衛生会議が行われています。 「衛生管理マニュアル」「食中毒マニュアル」が整備され、11月に県の講習が行われ、その後園内研修が行われています。		

A - 3 保護者に対する支援

		第三者評価結果
A - 3 - (1) 家庭との緊密な連携		
70	A - 3 - (1) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・b・c
<コメント> 献立表をわかりやすく作成し早めに配布しています。給食便りも発行し、その中で人気のレシピの紹介もしています。 「おしゃべり会」を毎月1回、土曜日に行っています。園の保護者に限らず、地域の親子も一緒に給食の試食をし、出汁はカツオ・昆布で摂っている事、シチューには鶏ガラでスープを取り、本物の味付けをし、食べやすい柔らかさで、きちんとした形を残していること、などを伝えています。 サンプルは、玄関前に11時には掲示され、園庭で遊ぶ子どもたちに、給食に対する興味を持たせています。夏場は写真での掲示をしています。 給食便りやおしゃべり会などで、食材・食器の大切さ、子どもにとっての食事の大切さ、マナーの大切さ、などを保護者に伝えています。		

71	A - 3 - (1) - 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている	a・b・c
<コメント> 保護者との対話や相談は、必要に応じて個人記録「保育の記録」に記入されます。 子どもが初めて何かできた時には、子どもを沢山ほめますが、その事は保護者に伝えられ、園便り・クラス通信に掲載し、言葉での表現だけでなく、写真付きでホームページに載せています。保護者もインターネットで確認し、喜びを共有しています。		
72	A - 3 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a・b・c
<コメント> 入園式に、新入园児・保護者は勿論、在園児もおめかしして、保護者と共に参列します。その後子ども達は保育室で遊び、保護者は懇談会となります。6月には保育参観があります。各行事の際には、園長が保育についての話をしています。 伝統的な行事である「七夕会」は、保育参加の形で行われ、例年祖父母も含め150名ほどの参加があります。パネルシアターでの人形劇などを見た後、製作を一緒にしています。その他の保育参加の機会は、「七草摘み」「餅つき」「運動会」「バス遠足」などがあります。		
73	A - 3 - (1) - 保護者組織の活動に対する援助や意見交換を行っている。	a・b・c
<コメント> 保護者組織は、「育友会」として三役の他役員が選出され、会議等には場所の提供をし、役員会に園長・主任・クラスリーダーが参加しています。 保護者が参加する行事が多く、育友会とは常にコミュニケーションを取っています。		
74	A - 3 - (1) - 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<コメント> 早期発見については、怪我やアザなどの撮影・記録をし、清潔面でも入浴しているか、同じ服装ではないか、などに気を配っています。 気になる保護者には、常に温かい受容の姿勢で接し、虐待とまでいかなくても、怪我をしないような家庭環境作りを勧めています。 「虐待対応マニュアル」を整備しています。併せて、「天草市児童虐待マニュアル」も綴じ込み、参考にしています。 虐待が疑われる場合の連絡先として、県中央児童相談所・天草市子育て支援課子ども相談係を挙げています。 園内研修として「児童虐待対応について、園児の発達相談」を開催、市の保健師を迎えて、園で気になっている事や、担任の願いについて、職員が例を挙げ勉強しています。		

(参考)

	第三者評価結果		
	a	b	c
共通評価基準 (評価対象 ~)	4 1	4	0
内容評価基準 (評価対象 A)	2 6	3	0
合 計	6 7	7	0